

# こうざえもんつうしん 講左衛門通信

平成26年6月8日

第23号

発行 天台宗忍草山東円寺  
〒401-0511  
南都留郡忍野村忍草38  
☎ 0555-84-4114

『今日は、寛永寺から届いた書状「申渡制條之事」について話をするようになっておったな。』  
『講左衛門さん、この書状のことは、「忍野村誌第二巻・第11編宗教・第四章忍野八海信仰の再興」に書かれているでまっすん。けれど、難しく理解できないでまっすん。』

『本当にクニマッスンは勉強しておるのう。確かに、忍野村誌に書かれておるんじゃが、詳しく書かれているわけじゃないから少し難しいかもしれんな。簡単に言うなら、大我講中が、富士山に登るときの約束が書かれておるんじゃよ。第一に、「元八湖再興時に、友右衛門より提出された書状通りの内容をしっかり守ること」余談じゃが、友右衛門が寛永寺に提出した書状については、確認がとれてないんじゃよ。さて、第二に、「大我講中に加わりたいと申し出があった場合は、その身分・心底を見届け、名前・印形を取って講中に参加すること」とある。』

『富士講が盛んだった時代に、印鑑を持っている人は多かったでまっすん?』

『良い質問じゃ。現代のように、誰もが印鑑を持てる時代ではなかったんじゃ。名主や豪農など一部の人しか持てなかったんじゃよ。また、大我講中名簿に押されている印は、朱印ではなく墨印(ぼくいん)だったんじゃ。第三には、「毎年、八湖巡行の時には、各自の信心の深浅を確認し、不適當な者は寛永寺へ届けて伺いをたてること」とあるんじゃ。』

『信心深いかどうかの確認をするなんて、なぜでまっすん?八湖を巡行するだけで、十分に信心深いことでまっすん。信心が深いか?浅いか?そんなことどうやって確認するでまっすん。』

『素朴な質問じゃが、答えは難しいのう。富士講にも、様々な講があったのは知っておるな。その講には、必ず決まりごとがあるんじゃよ。多くの仲間がいて、その決まりごとを守ることができなかつたらクニマッスン、どうなると思う?』

『統率が執れなくなるなくなるでまっすん。そうか、信心深さを確認するということは、仲間同士、意識を同じく持つということにまっすん。信心が浅いということは、見方を変えると自分勝手ということにまっすん。』

『そういうことじゃ。今日は、7ヶ条すべてを紹介するつもりだったが、残り4つは、次の号で話すとして。』

『残念でまっすん。けれど、今日は、何事も決まりを守ることがとても大切であるということが理解できたでまっすん。講左衛門さん、次号も、楽しみにしているでまっすん。』



クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

口癖 でまっすん..



ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳

職業 大我講の先達

(先達とは富士山案内責任者)

『講左衛門通信』は、  
第2・第4日曜日に発行予定